

朝 日 町  
男女共同参画に関する  
事業所アンケート

調査結果報告書

令和3年9月



## - 目次 -

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査票の回収方法	1
4. 設問構成	1
5. 集計方法	1
II. 調査結果	2
1. 事業所について	2
1-1 業種	2
1-2 区分	3
1-3 雇用状況と管理職者数	4
2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	5
2-1 ワーク・ライフ・バランスの取り組み	5
2-2 ワーク・ライフ・バランスの課題	6
2-3 ワーク・ライフ・バランスの充実のために重要だと思うもの	7
3. 育児・介護について	8
3-1 育児休業制度	8
3-2 育児休業制度の取得	9
3-3 育児休業の取得期間	10
3-4 介護休暇制度	11
3-5 介護休業制度の取得	11
3-6 育児休業・介護休業を取得した男性従業員の人数	11
3-7 育児と介護と仕事の両立のための取り組み	12
3-8 育児休業や介護休業制度の定着への課題	13
4. 女性の活躍推進について	14
4-1 女性従業員の傾向	14
4-2 性別による従事する仕事の違い	15
4-3 女性の活躍推進への取り組みの状況、必要だと思う取り組み	16
4-4 女性の活躍推進における課題	17
4-5 女性活躍推進法における行動計画の策定状況	18
5. 各種ハラスメントについて	19
5-1 各種ハラスメントの発生状況	19
5-2 各種ハラスメント対策の取り組みの状況	20
6. 男女共同参画について	21
6-1 男女平等について	21
6-2 朝日町が力を入れていくべきこと	22

# I. 調査概要

## 1. 調査の目的

朝日町では、平成23年度に「朝日町男女共同参画基本計画」を策定し、町・町民・事業所が連携・協働して男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

このたび、計画の見直しにあたり、男女共同参画に関する事業所アンケート調査を行うこととしました。

## 2. 調査対象及び調査方法

- ①調査地域：朝日町内
- ②調査対象：朝日町内の事業所
- ③配布数：50社
- ④標本抽出方法：朝明商工会会員から無作為抽出
- ⑤調査期間：令和3年7月20日～8月10日
- ⑥調査方法：郵送配布・郵送回収

## 3. 調査票の回収方法

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
50	20	20	40.0%

## 4. 設問構成

- ・ 事業所について
- ・ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- ・ 育児・介護について
- ・ 女性の活躍推進について
- ・ 各種ハラスメントについて
- ・ 男女共同参画について

## 5. 集計方法

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略しています。また、選択肢の見出しを簡略化してある場合もあります。
- ・ クロス集計表で着目している数値は必ずしも最も高い値ではありません。全体の値を基準に数値の開きが+と-で大きいものを選択して検証しています。

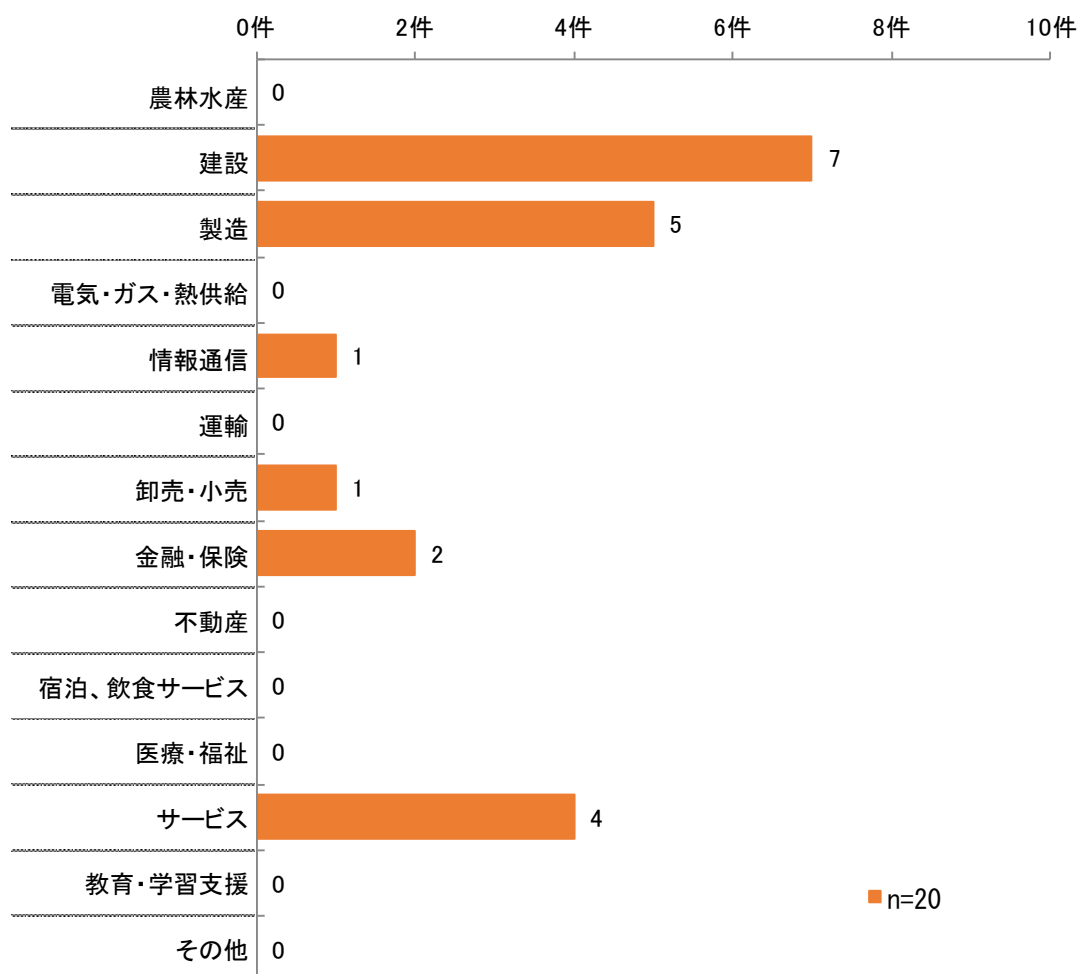
## II. 調査結果

### 1. 事業所について

#### 1-1 業種 .....

F1. 貴事業所の主な業種を選んでください。(〇は1つ)

「建設」が7件で最多

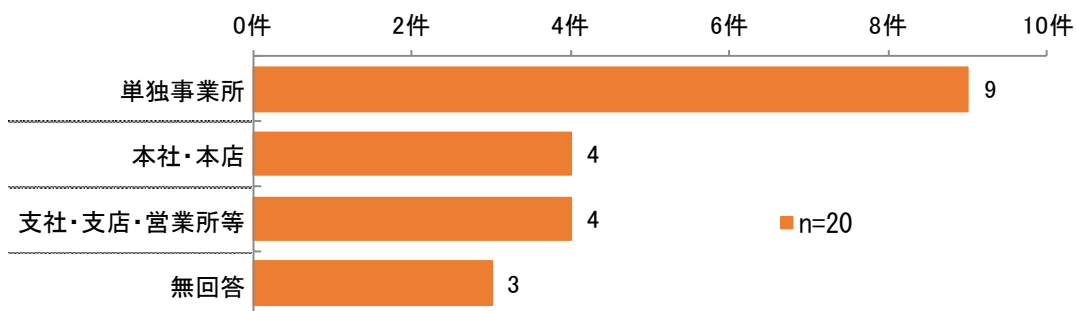


➤ 「建設」(7件)が最も多く、次いで「製造」(5件)、「サービス」(4件)となっている。

1-2 区分 .....

F 2. 貴事業所の区分を選んでください。(○は1つ)

「単独事業所」が9件で最多



➤ 「単独事業所」(9件)が最も多く、次いで「本社・支店」「支社・支店・営業所等」(4件)となっている。

### 1-3 雇用状況と管理職者数 .....

F 3. 貴事業所の雇用状況と管理職者数について記入してください。  
(令和3年7月1日時点)

**従業員が「20人以下の会社」が16社で最多**

	正規従業員			非正規従業員			計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
5人以下	11	14	7	3	5	4	10	13	5
6～10人	3	2	6	1	1	2	3	3	6
11～15人	3		2	1			4		2
16～20人			2		2		1	2	3
21～30人						2			
31～40人									2
60～70人				1					
500～1,000人					1	1			
1,000人以上	1	1	1				1	1	1
合計	18	17	18	6	9	9	19	19	19

	管理職		
	男性	女性	合計
5人以下	12	5	13
31～40人		1	
500人以上	1		1
	13	6	14

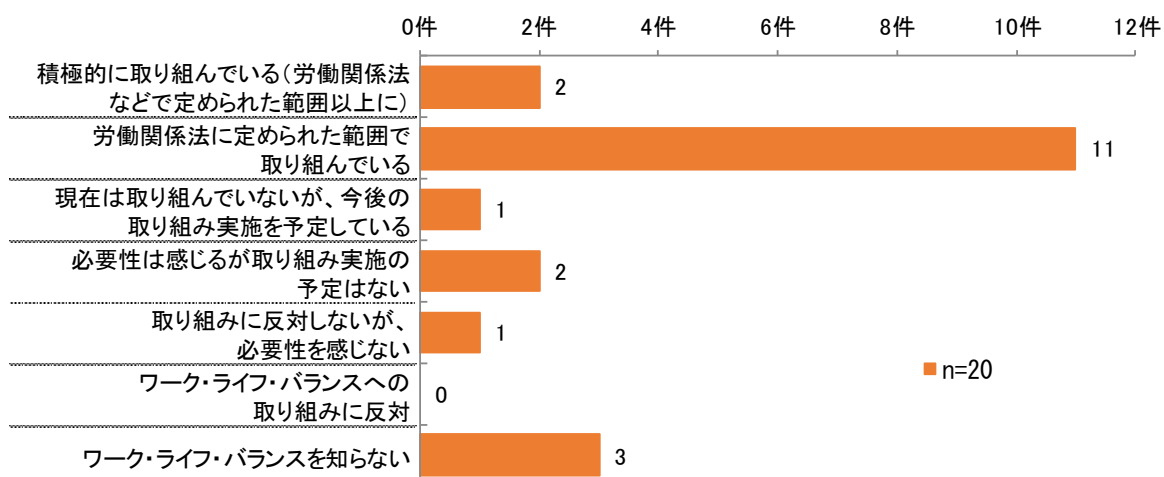
- 「20人以下の会社」が16社、31～40人の会社が2社、1,000人以上の会社が1社となっている。
- 正規従業員は「5人以下」で男性11社と比べ女性14社と多くなっている。非正規従業員は「20人以下の会社」で男性5社に比べ女性が8社と多くなっている。
- 管理職は男性13社、女性6社と男性が多くなっている。

## 2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

### 2-1 ワーク・ライフ・バランスの取り組み .....

問1. 貴事業所での仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みについて、次の中からお選びください。（○は1つ）

「労働関係法に定められた範囲で取り組んでいる」が11件で最多



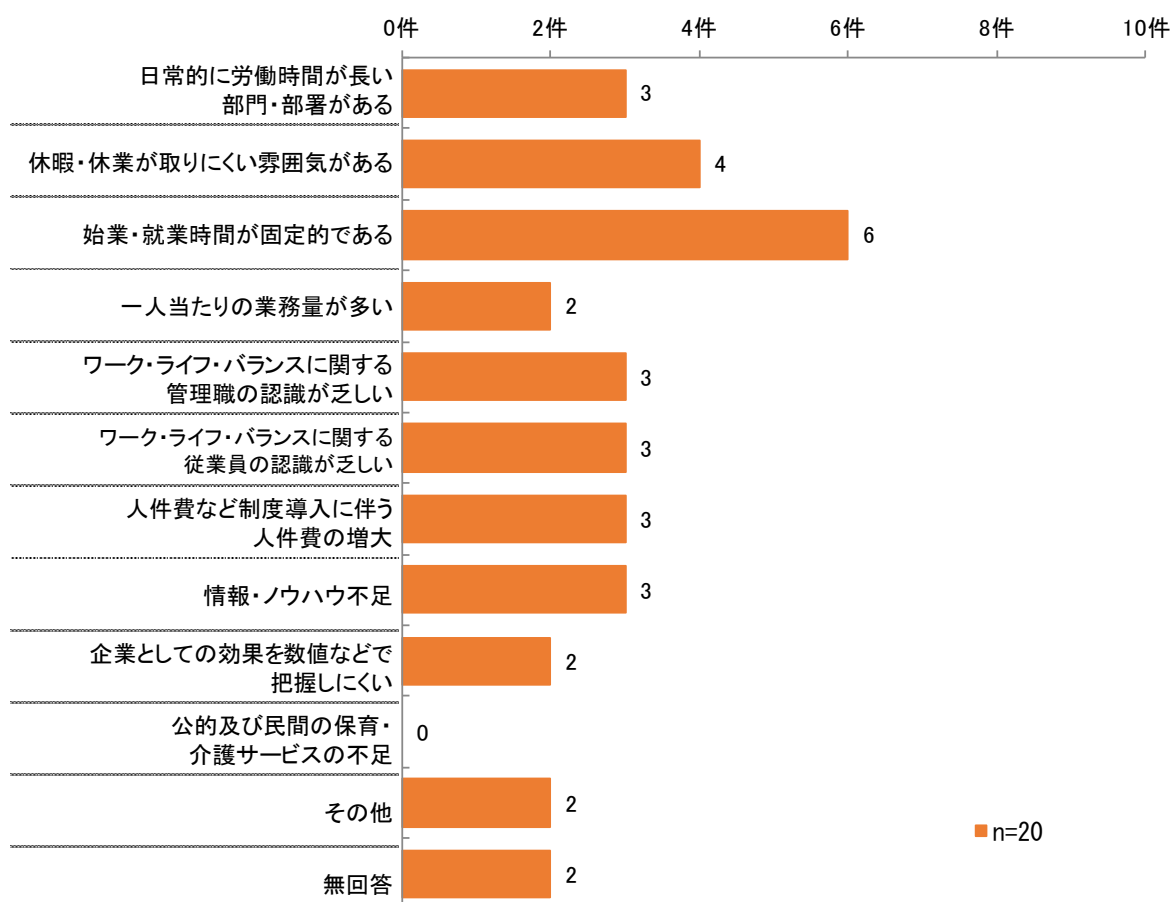
➤ 「労働関係法に定められた範囲で取り組んでいる」が圧倒的に多く11件、「積極的に取り組んでいる(労働関係法などで定められた範囲以上に)」「必要性を感じるが取り組み実施の予定はない」が2件となっている。なお、「ワーク・ライフ・バランスを知らない」は3件となっている。



## 2-2 ワーク・ライフ・バランスの課題 .....

問2. 貴事業所での仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組み推進においてどのようなことが課題になると思いますか。（〇はいくつでも）

「始業・就業時間が固定的である」が6件で最多

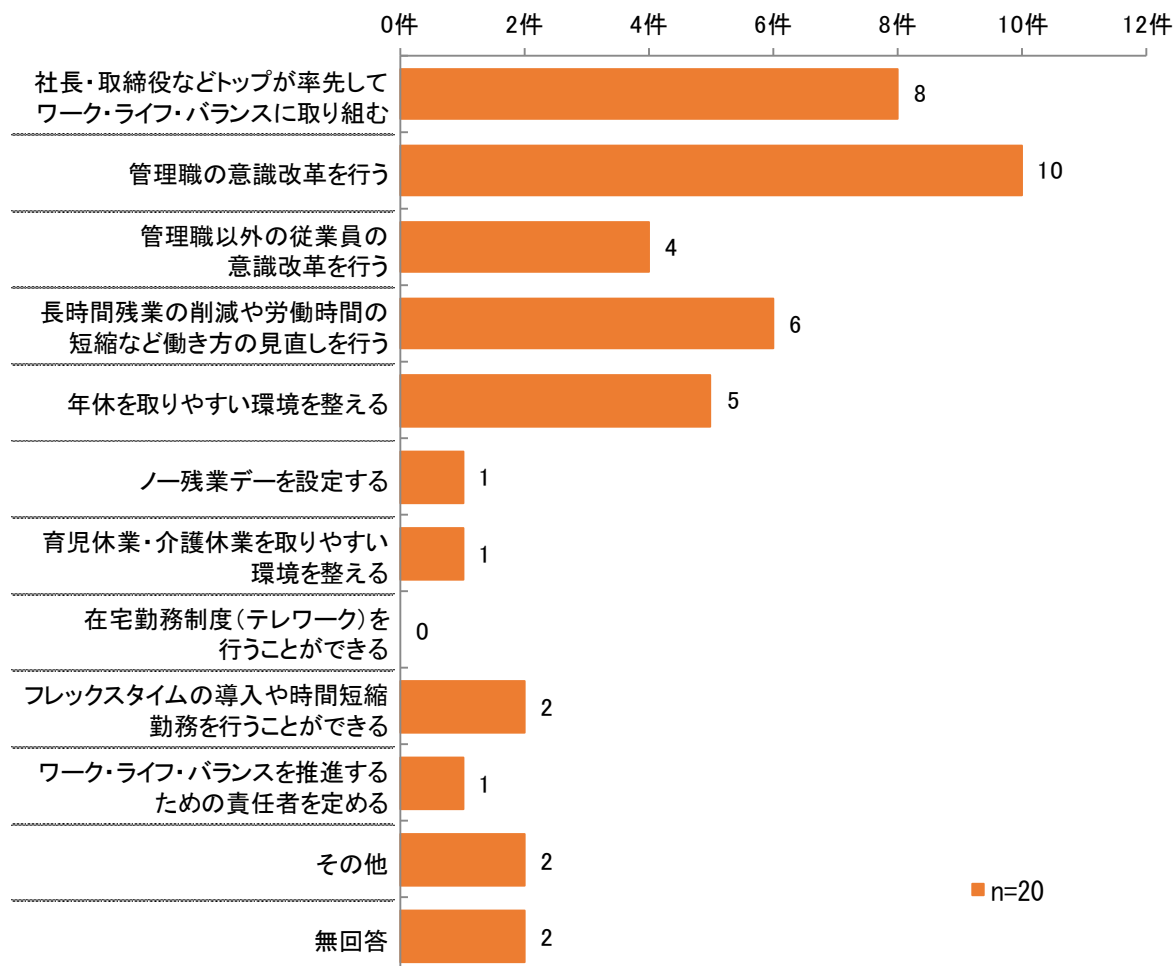


➤ 「始業・就業時間が固定的である」(6件)が最も多く、次いで「休暇・休業が取りにくい雰囲気がある」(4件)となっている。他は「公的及び民間の保育・介護サービスの不足」を除き2、3件となっている。

## 2-3 ワーク・ライフ・バランスの充実のために重要だと思うもの ……………

問3. 貴事業所での仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の充実のために、重要だと思うものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

「管理職の意識改革を行う」が10件で最多



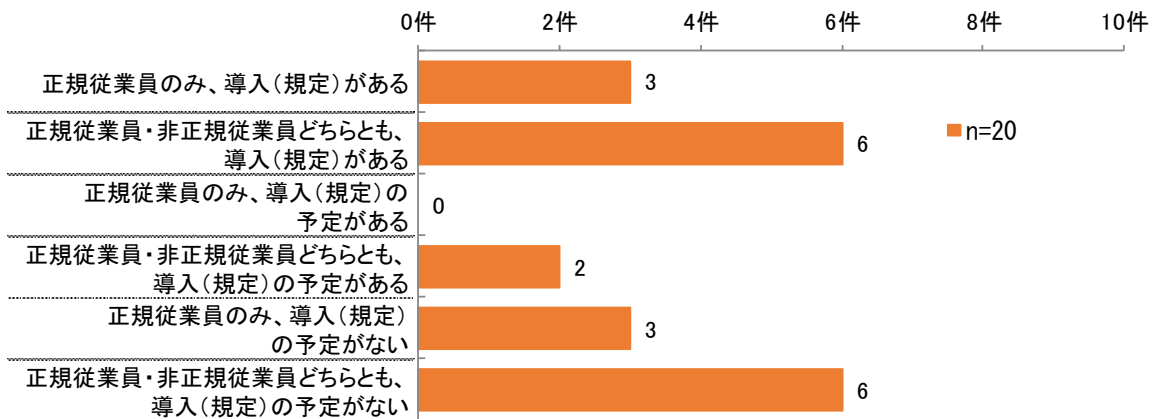
➤ 「管理職の意識改革を行う」(10件)が最も多く、次いで「社長・取締役などトップが率先してワーク・ライフ・バランスに取り組む」(8件)、「長時間残業の削減や労働時間の短縮など働き方の見直しを行う」(6件)となっている。

### 3. 育児・介護について

#### 3-1 育児休業制度 .....

問4. 貴事業所では、育児休業制度の導入（規定）はありますか。（〇は1つ）

導入（規定）があるのは「正規従業員のみ、導入（規定）がある」が3件、  
「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）がある」が6件

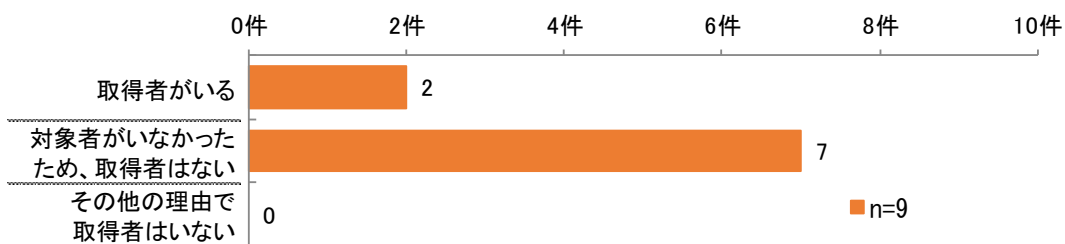


- 導入（規定）があるのは「正規従業員のみ、導入（規定）がある」が3件、「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）がある」が6件となっている。
- 導入（規定）の予定は「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）の予定がある」が2件、「正規従業員のみ、導入（規定）の予定がない」が3件、「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）の予定がない」が6件となっている。

### 3-2 育児休業制度の取得 .....

**【問4で「導入（規定）がある」に○印をつけた方にお聞きします。】**  
問4-1 貴事業所での令和2年4月1日～令和3年3月31日の期間で育児休業を取得した従業員はいますか。申請中も含めて取得した人数を男女別に記入してください。  
(○は1つ)

「取得者がいる」が2件で男性25人、女性119人

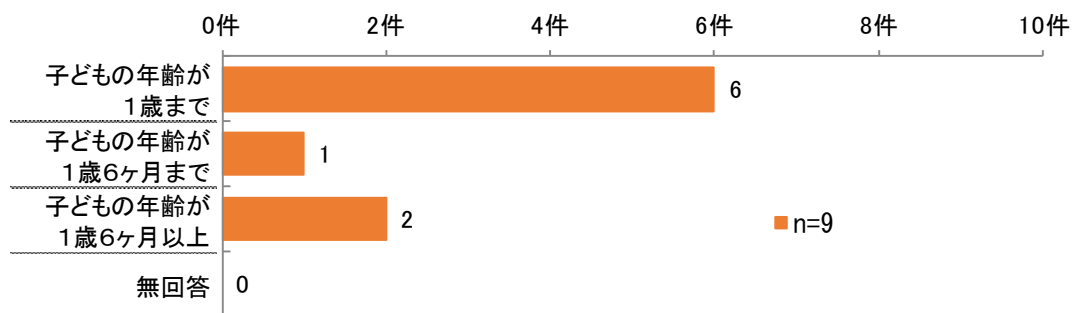


➤ 「取得者がいる」が2件で男性25人、女性119人、「対象者がいなかったため、取得者はない」は7件となっている。

### 3-3 育児休業の取得期間 .....

**【問4で「導入（規定）がある」に○印をつけた方にお聞きします。】**  
問4-2 貴事業所における育児休業は、どの程度の期間取得できますか。「3」を選択された場合、具体的な年齢を教えてください。（○は1つ）

**「子どもの年齢が1歳まで」が6件で最多**

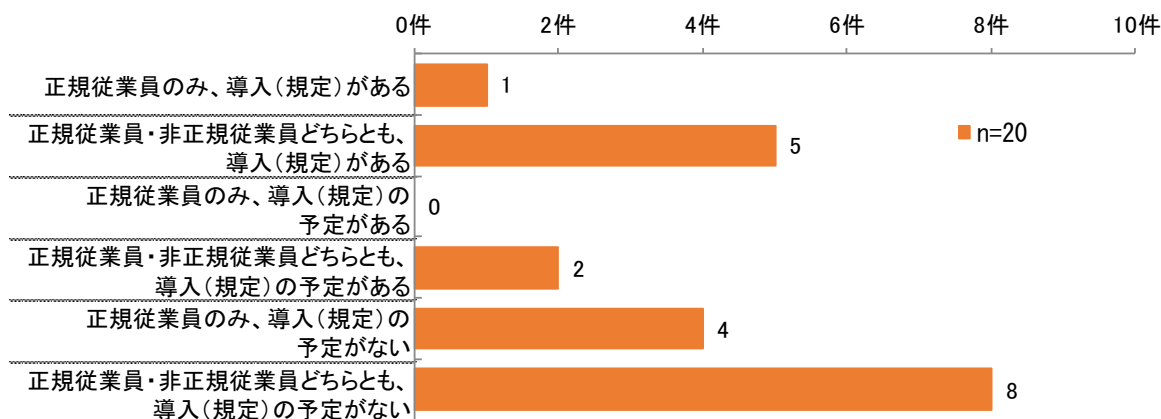


➤ 「子どもの年齢が1歳まで」(6件)が最も多く、「子どもの年齢が1歳6ヶ月以上」は2件で、2歳と3歳までが各1件となっている。

### 3-4 介護休暇制度 .....

問5. 貴事業所では、介護休業制度の導入（規定）はありますか。（○は1つ）

導入（規定）があるのは「正規従業員のみ、導入（規定）がある」が1件、  
「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）がある」が5件



- 導入（規定）があるのは「正規従業員のみ、導入（規定）がある」が1件、「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）がある」が5件となっている。
- 導入（規定）の予定は「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）の予定がある」が2件、「正規従業員のみ、導入（規定）の予定がない」が4件、「正規従業員・非正規従業員どちらとも、導入（規定）の予定がない」が8件となっている。

### 3-5 介護休業制度の取得 .....

【問5で「導入（規定）がある」に○印をつけた方にお聞きします。】

問5-1 貴事業所での令和2年4月1日～令和3年3月31日の期間で介護休業の制度を取得した従業員はいますか。申請中も含めて取得した人数を男女別に記入してください。

導入（規定）がある6件ですべて「対象者がいなかったため、取得者はない」

### 3-6 育児休業・介護休業を取得した男性従業員の人数 .....

【問4、問5で育児休業・介護休業を取得した男性従業員がいると答えた方にお聞きします。】

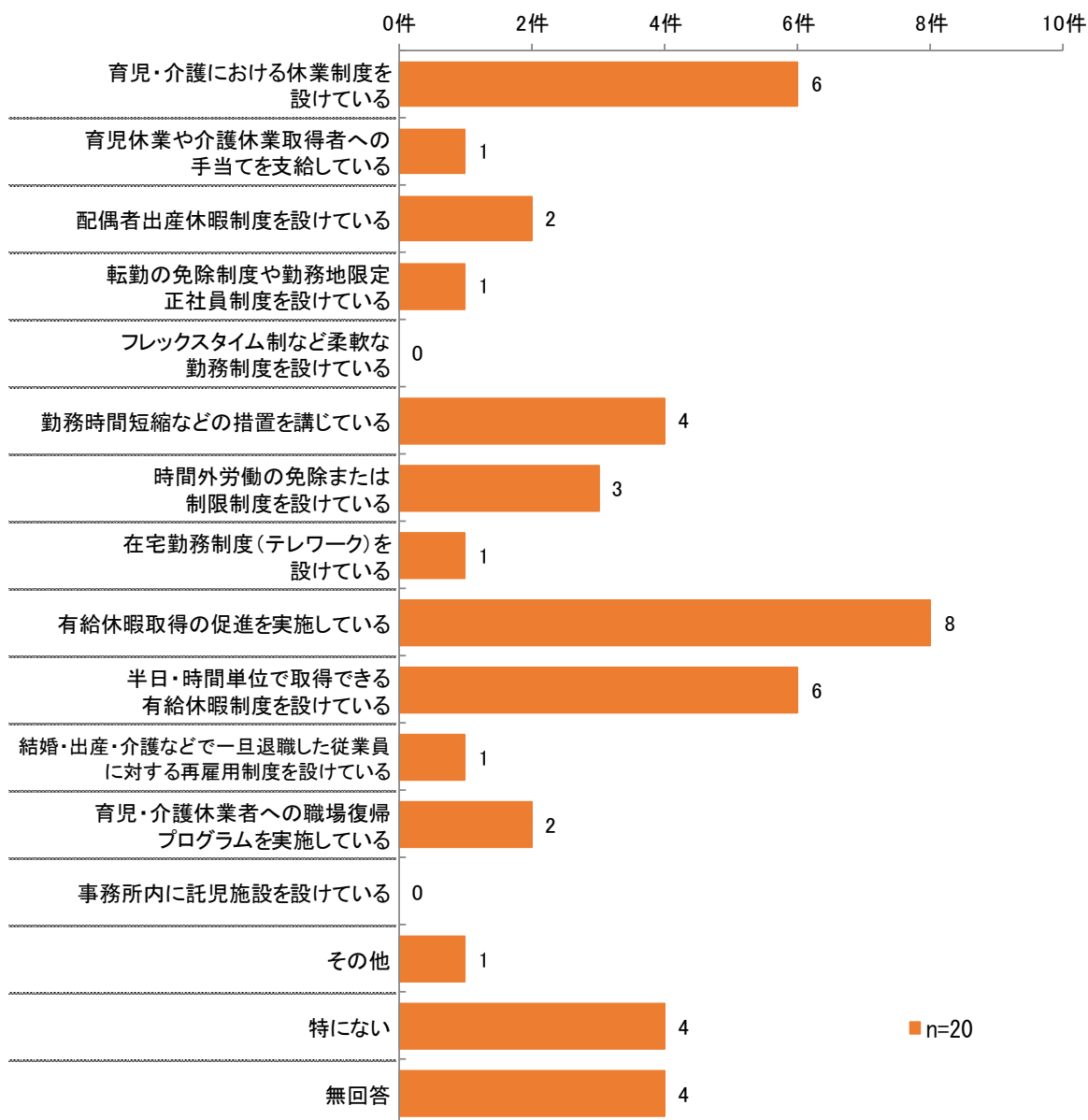
問6. 育児休業や介護休業を取得した男性従業員の人数を、取得期間別にお聞かせください。

育児休業で1社「一週間未満」が25人

### 3-7 育児と介護と仕事の両立のための取り組み .....

問7. 貴事業所において、従業員が育児や介護と仕事を両立するために、取り組んでいることをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

「有給休暇取得の促進を実施している」が8件で最多

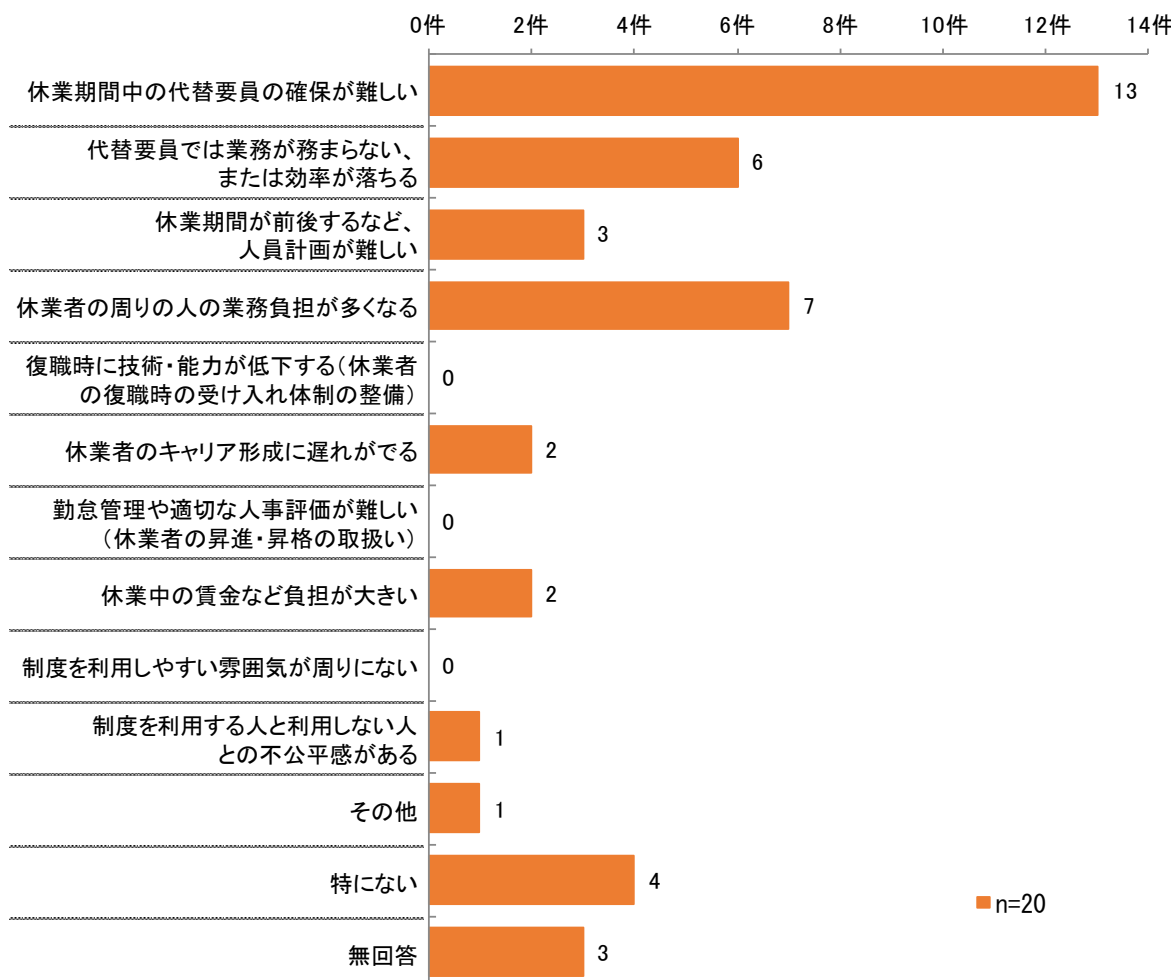


➤ 「有給休暇取得の促進を実施している」(8件)が最も多く、次いで「育児・介護における休業制度を設けている」「半日・時間単位で取得できる有給休暇制度を設けている」(6件)となっている。なお、「特にない」は4件となっている。

### 3-8 育児休業や介護休業制度の定着への課題 .....

問8. 育児休業や介護休業制度を定着させるにあたり、どのようなことが課題となると思いますか。(〇はいくつでも)

「休業期間中の代替要員の確保が難しい」が13件で最多



➤ 「休業期間中の代替要員の確保が難しい」(13 件)が最も多く、次いで「休業者の周りの人の業務負担が多くなる」(7件)、「代替要員では業務が務まらない、または効率が落ちる」(6件)となっている。なお、「特にない」は4件となっている。



## 4. 女性の活躍推進について

### 4-1 女性従業員の傾向 .....

【問9、問10は女性従業員がいる事業所にお聞きします。】

問9. 過去10年程度の間、貴事業所の女性従業員は以下についてどのような傾向がみられましたか。(〇はそれぞれ1つ)

変化した中では「女性の平均勤続年数」の『やや増加した』が4件で最多

	全 体	増 加 し た	や や 増 加 し た	変 化 し て な い	や や 減 少 し た	減 少 し た	無 回 答
ア. 結婚後も継続して勤める女性	19	0	1	11	0	0	7
イ. 出産後も継続して勤める女性	19	1	2	9	0	0	7
ウ. 女性の平均勤続年数	19	1	4	8	0	0	6
エ. 女性の正規従業員	19	0	2	6	2	0	9
オ. 女性の非正規従業員	19	1	2	6	0	0	10

- 「増加した」「やや増加した」を合わせた『増加』は「女性の平均勤続年数」(5件)が最も多く、次いで「出産後も継続して勤める女性」「女性の非正規従業員」(3件)となっている。「減少した」「やや減少した」を合わせた『減少』は「女性の正規従業員」で2件となっている。

4-2 性別による従事する仕事の違い .....

**【問9、問10は女性従業員がいる事業所にお聞きします。】**  
 問 10. 貴事業所において、下記のような仕事は女性と男性のどちらが多く従事していますか。※役職者を除いてお答えください（○はそれぞれ1つ）

女性で多いのは「接客サービス・受付窓口などでの対応」の『女性のほうが多く従事している』が10件で最多、  
 男性で多いのは「筋力が必要な仕事」の『男性のみ従事している』が9件で最多。

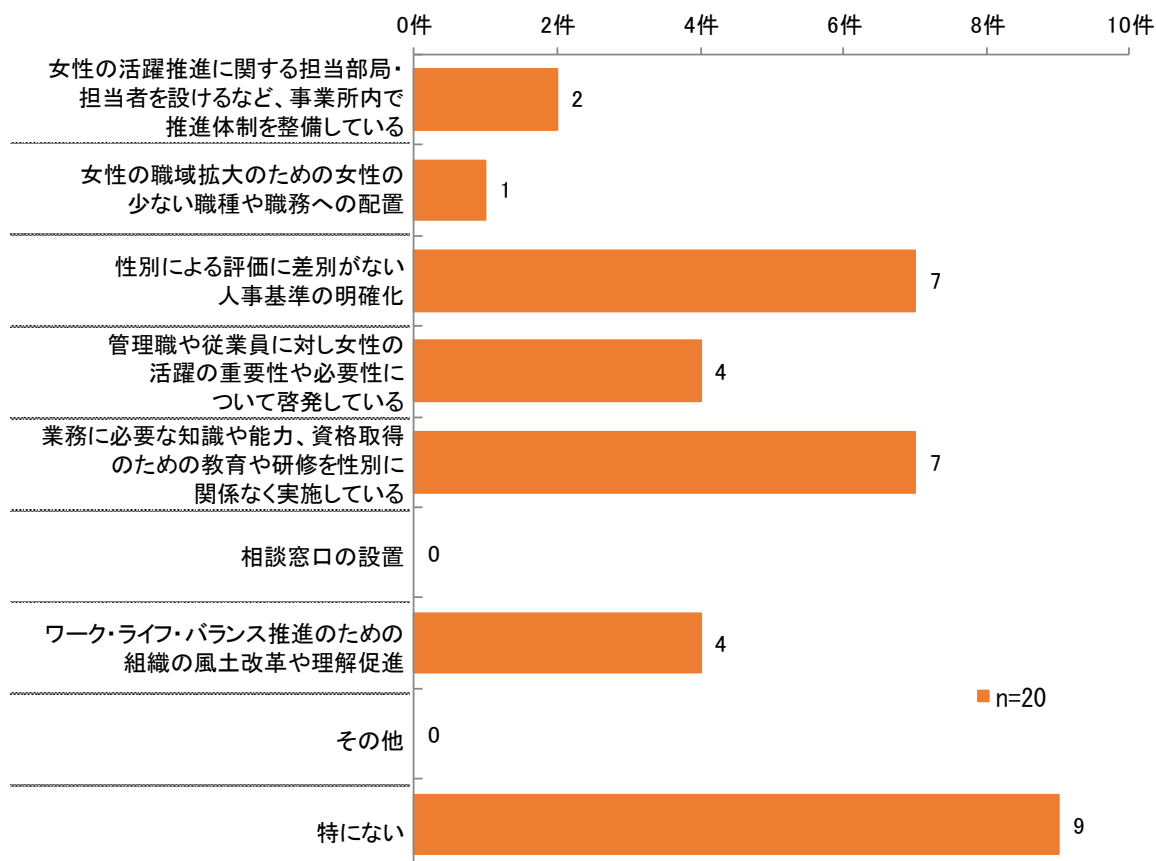
	全 体	て男 性の み 従 事 し	く男 性の ほ う が 多 く	いよ う女 性に も 同 じ	く女 性の ほ う が 多 く	て女 性の み 従 事 し	な該 当 す る 仕 事 が	無 回 答
ア. 外部との折衝が多い仕事	19	2	7	4	1	0	1	4
イ. 出張が多い・宿泊を要する仕事	19	4	2	1	0	0	8	4
ウ. 高度な技術が必要な仕事	19	8	3	3	0	0	1	4
エ. リーダーシップが必要な仕事	19	6	6	2	0	0	1	4
オ. 企画力が必要な仕事	19	2	5	3	2	0	2	5
カ. 筋力が必要な仕事	19	9	5	0	0	0	2	3
キ. 販売など売上げ目標(ノルマ)のある仕事	19	5	2	4	0	0	4	4
ク. 現場作業が多い仕事	19	7	2	4	1	0	2	3
ケ. 専門的な知識・資格が必要な仕事	19	5	4	3	0	0	3	4
コ. 接客サービス・受付窓口などでの対応	19	0	0	4	10	1	0	4
サ. 定型的な仕事(ルーティンワーク)	19	0	2	9	3	0	2	3

- 「男性のみ従事している」「男性のほうが多く従事している」を合わせた『男性が従事』では「筋力が必要な仕事」(14件)が最も多く、次いで「リーダーシップが必要な仕事」(12件)、「高度な技術が必要な仕事」(11件)となっている。
- 「女性のみ従事している」「女性のほうが多く従事している」を合わせた『女性が従事』では「接客サービス・受付窓口などでの対応」で11件となっている。

#### 4-3 女性の活躍推進への取り組みの状況、必要だと思う取り組み ……………

問 11. 貴事業所において、女性の活躍推進の取り組みについて、現在取り組んでいること、または今後取り組みが必要だと考えられることを次の中からすべてお選びください。  
(○はいくつでも)

「性別による評価に差別がない人事基準の明確化」と「業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修を性別に関係なく実施している」が7件で最多

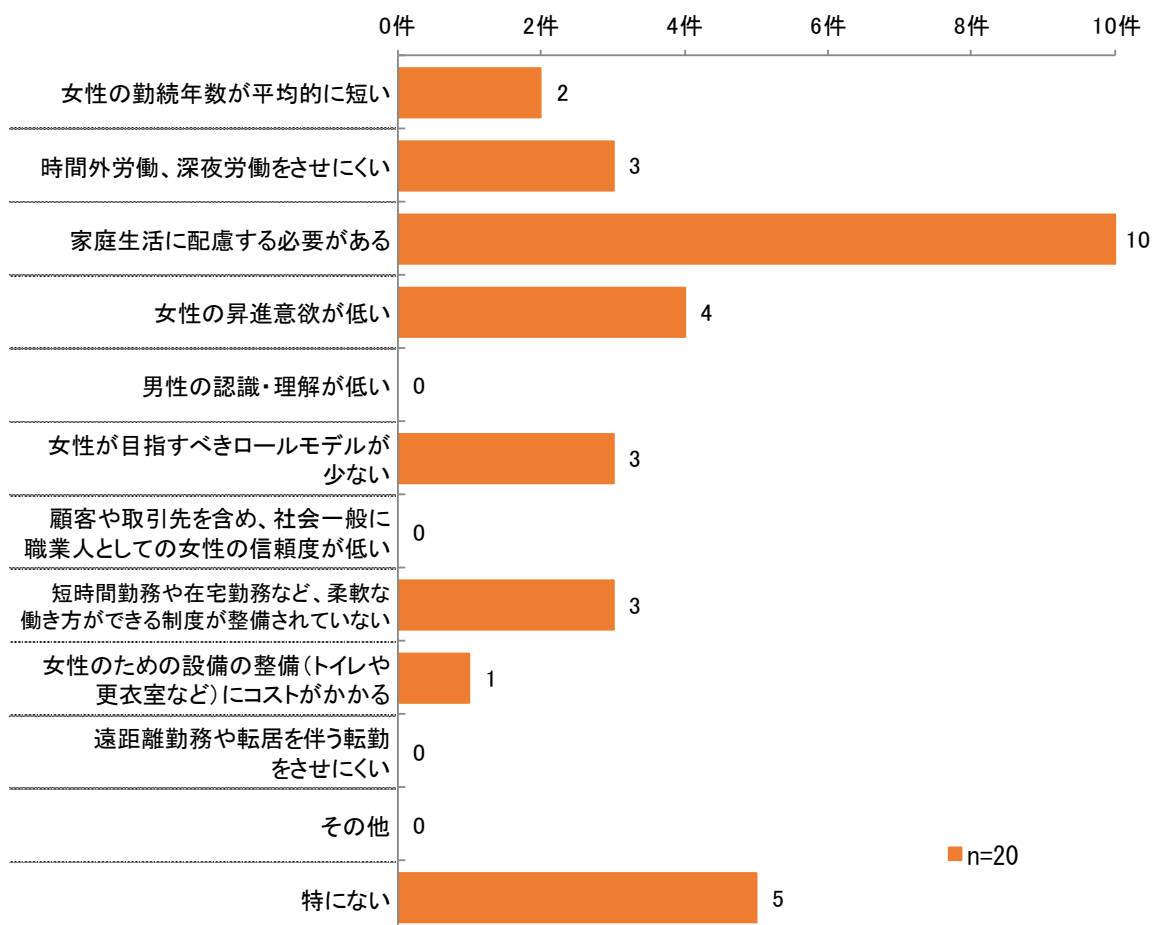


➤ 「性別による評価に差別がない人事基準の明確化」と「業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修を性別に関係なく実施している」が7件で最も多くなっている。なお、「特にない」は9件となっている。

#### 4-4 女性の活躍推進における課題 .....

問 12. 貴事業所において女性の活躍を促進するうえで、どのようなことが課題となると思いますか。(〇はいくつでも)

「家庭生活に配慮する必要がある」が10件で最多



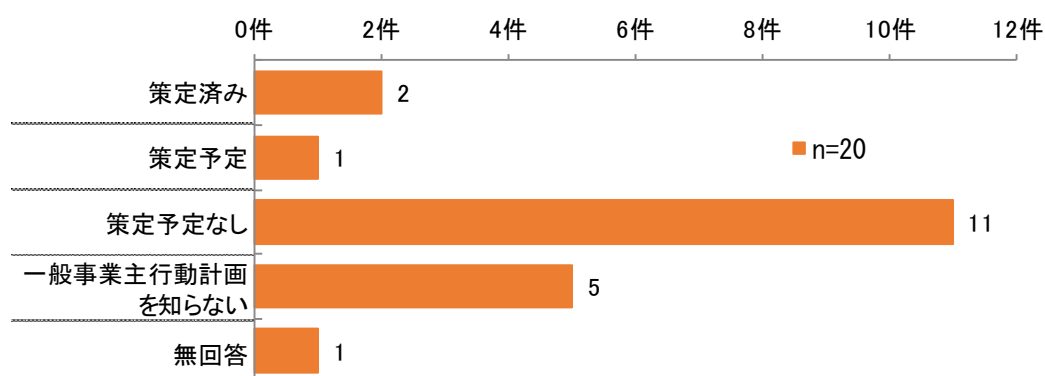
➤ 「家庭生活に配慮する必要がある」(10件)が最も多く、次いで「女性の昇進意欲が低い」(4件)、となっている。なお、「特にない」は5件となっている。

#### 4-5 女性活躍推進法における行動計画の策定状況 .....

問 13. 平成 28 年 4 月 1 日に全面施行された「女性活躍推進法」に基づき、国や自治体のほか企業等は女性従業員の活躍を推進するための「一般事業主行動計画」を策定することが義務づけられました。

貴事業所では、女性活躍推進法における一般事業主行動計画を策定していますか。(○は1つ)

「策定予定なし」が 11 件で最多、「策定済み」は 2 件



- 「策定予定なし」(11件)が最も多くなっている。なお、「一般事業主行動計画を知らない」は5件となっている。
- 「策定予定」の1件の策定時期は未定となっている。

## 5. 各種ハラスメントについて

### 5-1 各種ハラスメントの発生状況 .....

問 14. 各種ハラスメントの発生状況をお聞かせください。(○はそれぞれ1つ)

「セクシャル・ハラスメント」と「パワー・ハラスメント」で『事業所内で問題になり対応した』と『事業所内でうわさを聞いたことがある』が各1件

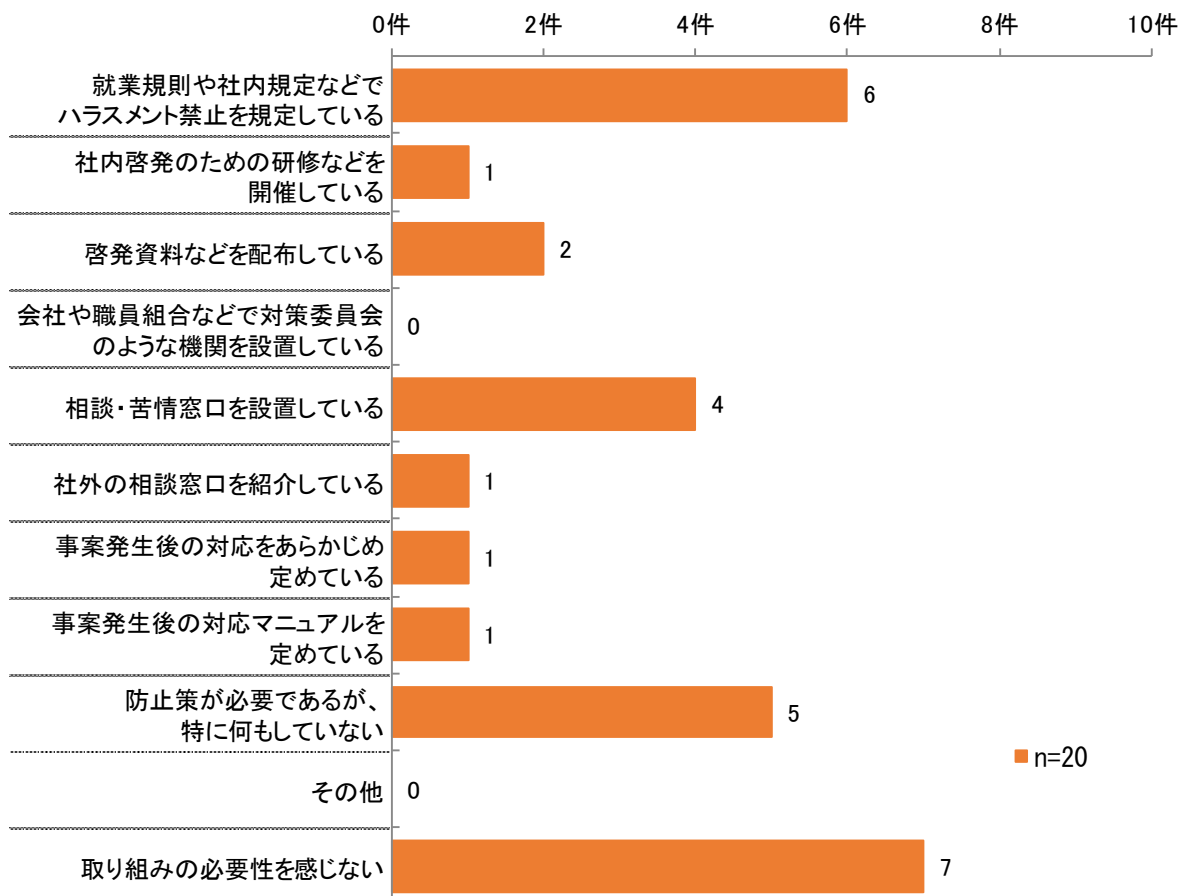
	全 体	事 業 所 内 で 問 題 に な り 対 応 し た	事 業 所 内 で う わ さ を 聞 い た	取 引 先 と の 間 で 問 題 に な り 対 応 し た	問 題 に な っ た こ と も な い わ
ア. セクシャル・ハラスメント	20	1	1	0	18
イ. パワー・ハラスメント	20	1	1	0	18
ウ. マタニティ・ハラスメント	20	0	0	0	20

➤ 「セクシャル・ハラスメント」と「パワー・ハラスメント」で『事業所内で問題になり対応した』と『事業所内でうわさを聞いたことがある』が各1件となっている。

## 5-2 各種ハラスメント対策の取り組みの状況 .....

問 15. 各種ハラスメント対策として、貴事業所が取り組んでいるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

「就業規則や社内規定などでハラスメント禁止を規定している」が6件で最多



➤ 「就業規則や社内規定などでハラスメント禁止を規定している」(6件)が最も多く、次いで「防止策が必要であるが、特に何もしていない」(5件)、「相談・苦情窓口を設置している」(4件)となっている。なお、「取り組みの必要性を感じない」は7件となっている。

## 6. 男女共同参画について

### 6-1 男女平等について .....

問 16. 貴事業所では、次にあげるア～オについて男女が平等になっていると思いますか。  
(○はそれぞれ1つ)

『どちらかといえば男性の方が優遇されている』の「賃金」が8件で最多

	全 体	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	平 等 で あ る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	無 回 答
ア. 募集・採用	20	5	14	0	1
イ. 賃金	20	8	11	0	1
ウ. 人事評価	20	1	17	1	1
エ. 昇進・昇格	20	3	16	0	1
オ. 教育訓練	20	1	18	0	1

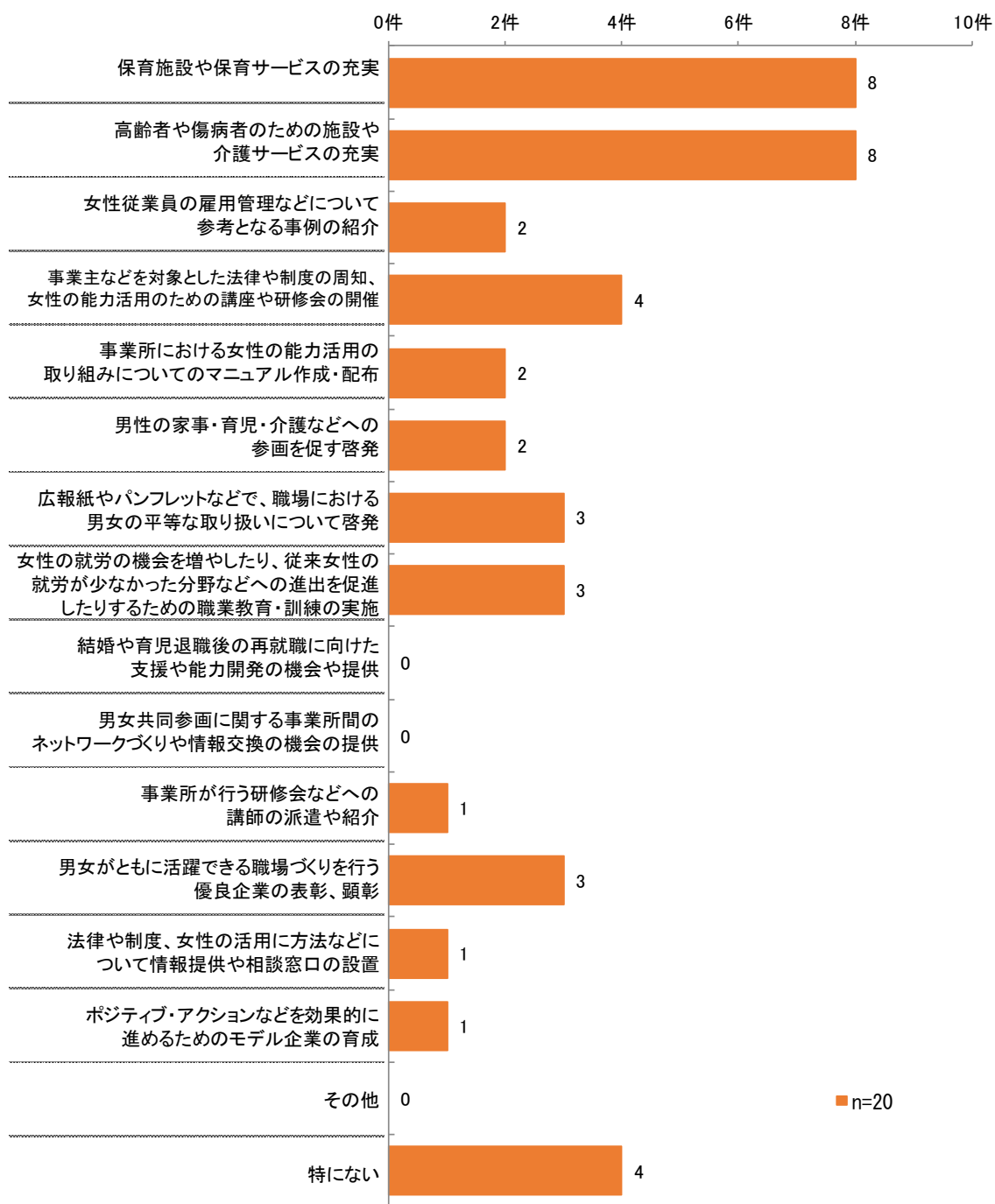
- 『どちらかといえば男性の方が優遇されている』では、「賃金」(8件)が最も多く、次いで「募集・採用」(5件)、「昇進・昇格」(3件)となっている。
- 『どちらかといえば女性の方が優遇されている』では「人事評価」で1件となっている。



6-2 朝日町が力を入れていくべきこと .....

問 17. 貴事業所において男女共同参画を進めるにあたって、今後、町はどのようなことに力をいれていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

「保育施設や保育サービスの充実」と  
「高齢者や傷病者のための施設や介護サービスの充実」が8件と最多



➤ 「保育施設や保育サービスの充実」と「高齢者や傷病者のための施設や介護サービスの充実」が8件と最も多く、次いで「事業主などを対象とした法律や制度の周知、女性の能力活用のための講座や研修会の開催」(4件)となっている。なお、「特にない」は4件となっている。